



2016-2017年度 主題

国際会長 : Joan Wilson "Our Future Begins Today"
 「我々の未来は、今日から始まる」
 アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"
 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 : 利根川恵子 「明日に向かって、今日働こう」
 湘南・沖縄部長 : 若木一美 「あなたが退会しない理由は？」
 ~明るく・楽しく・元氣よく~
 クラブ会長 : 林 茂博 「仲良く、楽しく、無理をせず」
 ~今日という日を大切に~



今月の聖句

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」

ヨハネ福音書16:33

2017年5月本例会

☆富士山例会

集合日時: 5月26日(金)

14:00現地集合

《プログラム》

受付: 横田、司会: 今城T

1) 例会 15:00-16:30

開会点鐘 林会長

ワイズの信条・ワイズソング

今月の聖句 相賀チャプレン

会長挨拶 林会長

卓話: 富士山YMCA10周年

-これからの展望-

村田館長

各種アピール・スマイル

YMCA報告 山中担当主事

Happy Birthday

5/11 岡崎さよ子さん

5/13 生井知三さん

5/19 三木紀昭さん

5/20 林理子さん

5/21 鈴木茂さん

5/29 相賀由美子さん

2) ~17:30 自由時間

3) 18:00-20:00 懇親BBQ

4) 懇親会・アトラクション

5) 翌27日は自由解散

巻頭言

クラブ書記 岡田美和

「何時もみんな一緒」

70歳を過ぎ金婚式を迎える年となりました。記念として東海道53次を歩こうと思い立ち、先日は7回目平塚~大磯を歩きました。全行程12km位で私の足で2万歩でした。右には小高い山々、左には相模湾と爽やかな風を受けて歩きました。旧街道の松並木には400年もの古木の松も残っていました。後に植えられた松には今花が盛んに咲いていました。

この松並木の街道を今までにどれだけの旅人が、どんな思いで歩いたことでしょうか。近くに小高い山があり立ち寄ってみました。麓に高来神社(元高麗寺)がありました。その神社には若光渡来(天智天皇の時代、高句麗が滅亡し、大磯に渡来した王族の若光一族が大陸文化を伝えた)が言い伝えられています。江戸時代には、参勤交代時の殿様もお駕籠から降りて高麗寺の大鳥居の前で深々とお辞儀をしたと伝えられています。

島崎藤村旧宅(静の草屋)は簡素な感じの民家で、ここで藤村は最期を迎えました。夏の暑い日、執筆中に庭に目をやって「涼しい風だね」と、そのまま深い眠りに入りました。白い花を好んだという藤村、訪れた日も庭には古木の白いバラが盛んに咲いていました。

松並木、高麗寺、旧藤村邸などを自分の足で歩いて、触れてみていろいろと感じました。昔の人々、先人もここで同じように歩き、祈り、生活をしていた事が自然に伝わってきました。

そうです、繋がっているのです。そして、私の70年間も人と人と繋がっているのです。また、今遠く離れている人、病やいろいろな事情で会えない人とも「何時もみんな一緒」繋がっている「共にいる」と強く感じます。京都まで遠いですが、こういう事を感じながらゆっくり楽しく歩いていきたいと思っています。歩ける体力に感謝しつつ、、、。

前月のデータ

例会出席	23名	在籍会員数	21名	各種記録	前月	累計	
メンバー	16名	月間出席数	18名	使用済切手	0g	60g	
ビジター	1名	メーキャップ	2名	ブルタブ	0kg	34.4kg	
ゲスト	6名	月間出席率	85%	スマイル	0円	80,692円	



《報告》

4月度本例会報告

報告者 鈴木 茂

時 :2017年4月28日(金) 18:30~22:00

場所 :かけはし都筑(会食「ガブリエル」)

受付・報告:鈴木S 司会:岡崎

出席者:今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、鈴木K・S、辻Ts、林M・S、福島、三木、山中、横田

(ゲスト・ビジター) 長和義雄(卓話者)、浅羽俊一郎・恵、谷口朋子、増田貴之、高松満至、三木紀昭

《プログラム》

○開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条に続いて、今月の聖句・ローマの信徒への手紙5:3-5が朗読され、ご都合で本日欠席となった相賀チャブレンに代わって、林S会長がチャブレンの用意されたメッセージ原稿を代読した。

○ゲスト・ビジター紹介では、最初に辻Ts会員より、卓話者の紹介者である浅羽俊一郎さん(東京山手クラブ、あずさ部部长)と同メネットの恵さんの紹介があり、次いで既に私ども顔なじみの高松満至さん、三木紀昭さんの歓迎の挨拶があった。次に、浅羽さんより卓話者の長和義雄さん(経歴等4月号ブリテン参照)及び国連難民高等弁務官事務所時代のご友人の谷口朋子さん・増田貴之さんの紹介があった。

○卓話「体験的高齢者福祉論」:長和義雄さん(元国連難民高等弁務官事務所勤務、現在「荏田南ことぶき会(老人クラブ)会長)ほか地域の高齢者福祉活動に関与)

・福祉とは幸福の別名であり、社会的弱者救済中心の福祉概念から、健常者も含めた高齢者福祉全般を視野に入れる必要がある。

・「禍福はあざなえる縄のごとし」という諺があるように、この世の幸、不幸はよられた縄のようなもので、幸福と思ったことも禍となり、禍と思ったことも幸福になる場合が多い。だから、吉本隆明が勧める“大した幸せでなくても、ちょっとしたいい気分でも、これが幸福だと思う”「小刻み幸福論」が参考になる。これは価値観転換のススメである。

・長寿社会の中で、健康な老人(8割以上)に対してはあまり関心が払われていないが、丈夫な老人には弱者を助ける新たな役割(友愛と共助)が期待されている。この友愛と共助は、長寿社会のセーフティ・ネットともいえる。そのセーフティ・ネットには、単に落下の時の備えだけではなく、そもそも落下しないようにする足場や手すりの役割が期待されている。

○YMCA報告:山中担当主事より、①さる4月23日(日)、横浜北YMCA40周年記念会を盛会裡に開催し、記念誌も発行することができた、②来る5月27日(土)17:00より湘南とつかYMCAにて2017年度会員総会が開催される、ぜひ出席してほしい、旨の報告があった。

○Happy Birthday:岡田勝美(4/1)、鈴木恭子(4/9)、福島佐世子(4/17)

○各種アピール:つづきクラブの富士山例会(5/26-5/27)、第20回東日本区大会(6/3-4・川越)への当クラブからの参加者8名。

閉会点鐘後、「ガブリエル」にて会食・懇親会。ゲスト・ビジターを含め21名参加。

(完)



岡崎ワイズの司会で開会



4月のHappy Birthday 林会長と共に



卓話者の長和義雄さん 高齢者福祉について力強いお話があった。右隣は、長和さんをご紹介くださった浅羽ワイズ(東京山手クラブ)

《報告》

横浜北YMCA創立40周年記念会

報告者 横田 孝久

4月23日（日）午後2時より記念会が開催されました。

第1部：感謝礼拝

司会：尾原萌子さん、奏楽：藤巻 優子さん

讚美歌「さあ、共に生きよう」を賛美し、聖書はローマの信徒への手紙5章1～5。説教は恵泉女学園大学キリスト教教育主任の宇野 緑牧師でした。

東日本震災後のある小学校での出来事がNHKで放送された事を話され、「苦難という恵み」がタイトルでした。父親を亡くした子どもの心の中を、他の友達と共有することからお互いの信頼と平和が生まれたとのこと。まさにYMCAの働きはそれとイコールであるとの事で、これから皆で手をたずさえて進みましょう。

横浜YMCA 私たちの使命を交読して祝祷を受け終了。

施設見学の際に第2部の茶話会の準備がされ、午後3時より溝部 文子さんの司会で始まりました。

北YMCAの久保運営委員長の挨拶に続いて、茂木前運営委員長の食前感謝を頂き、歓談へと進みました。田口総主事はじめ歴代の館長やそれぞれのリーダーが参集して、なごやかに進み、恒例の歌声広場が始まり、数曲が久保さん（ギター）のリードで、シンセサイザー今城宏子さん、ベース藤澤幸隆氏の伴奏で歌われました。

子ども達によるキャンプソングも披露されて、瞬く間に時間が過ぎ、閉会となりました。

更なる40年の将来に向けて、YMCAの使命にそって、手をたずさえてがんばろう。その後、全員で記念写真をとり、同時に記念誌も頂き40年の歩みを再認識したことも追記しておきます。

(完)



歴代の館長さんも出席した40周年記念会。横浜北Yを支えるつづきクラブの面々も大勢出席しました。40周年おめでとう!



うたごえ広場で活躍するつづきクラブ・ペア



懇親会でご挨拶を拝聴するつづきクラブの面々



北Y便り

4月23日(日)横浜北YMCA 40周年記念会を実施いたしました。50名の参加をいただき記念礼拝・茶話会と楽しい時間を過ごすことができました。礼拝では

恵泉女学園大学チャプレンの宇野緑牧師におこしいただき「苦難という恵」と題してお話をいただきました。この40年の間、多くのスタッフが関わり多くの試練を経てきましたが、それらが今の土台となり力となってきました。弱きものへの関わりを心に留め多くの人々との交わりをこれからも大切にしていきたいと感じました。

茶話会は久保勝昭さんのごあいさつ、茂木雄さんの食前感謝、元総主事吉村恭二さんの乾杯から始まりました。横浜北YMCAの名物「うたごえ広場」キャンプキッズたちの「キャンプソング」などたくさんの歌がメインになった会になりました。多くのみなさまのおかげで迎えられた40年を大切にこれからも歩いていきたいと思ひます。

4月29日(土・祝)にはヘルシーキッズデーが

行われました。プールでは「親子水泳教室」「水球チャレンジ」「泳力検定」、スタジオでは「かけっこ教室」「トランポリン」「チアダンス体験」などが行われました。たくさんの笑顔が見えた1日でした。

今年度も夏を前に水難事故防止の啓発活動として着衣泳体験やCPR指導を地域で取り組んでいきます。また、神奈川県が8月に実施する「かながわ子ども・子育て支援月間」に今年度もエントリーし、地域での子育て支援に取り組んでいきます。「一人ひとりを大切に！」を心がけ、今夏もYMCA活動を進めていけるよう今から準備を進めています！

《6月行事予定》

- 6月 2日 菊名小学校キッズクラブ キッズコーディネーション
- 6月 6日 太尾小教員向けCPR講習会
- 6月13日 発達障がい勉強会 「ライフスキルの習得にむけて」

館長 中山 奈子 (つづきクラブ)

《投稿》クラブメンバー(OS)からの投稿です。可笑しいけど、我々高齢者には何か笑えない、「ピミョー」なユーモアです。こんなものは笑い飛ばすくらいのパワーがなければやって行けない、と思ひご披露します。八十一歳にはまだ少しあるな、と思ひつつ。(編集子)

- 一、道路を暴走するのが十八歳 逆走するのが八十一歳
- 一、心がもろいのが十八歳 骨がもろいのが八十一歳
- 一、偏差値が気になるのが十八歳
- 一、受験戦争を戦っているのが十八歳 血糖値が気になるのが八十一歳
- 一、恋に溺れるのが十八歳 アメリカと戦ったのが八十一歳
- 一、まだ何も知らないのが十八歳 お風呂で溺れるのが八十一歳
- 一、東京オリンピックに出たいと思うのが十八歳 もう何も覚えていないのが八十一歳
- 一、東京オリンピックまで生きていたいと思うのが八十一歳 東京オリンピックまで生きていたいと思うのが八十一歳
- 一、自分探しの旅をしているのが十八歳 どこにいるのか皆が探しているのが八十一歳
- 一、「嵐」というと松潤を思い浮かべるのが十八歳 どこにいるのか皆が探しているのが八十一歳
- 一、「嵐」というと松潤を思い浮かべるのが八十一歳 鞍馬天狗の嵐勘十郎を思い浮かべるのが八十一歳

《ワイズを学ぼう!》

～シリーズ2～

- 6) STEP (Short Term Youth Exchange Program) 会員子弟及びワイズ活動を理解した青少年の短期海外教育交換事業
- 7) TOF (Time of Fast) 会員が断食(節食)して食事代相当分を奉仕活動に捧げる運動。
- 8) UGP(Unified Global Project) 世界中のワイズメンが統一して取り組むプロジェクト。2005-2010はHIV/AIDS関連、2010-2011からはマラリア感染防止の蚊帳を寄付する)ロールバックマラリアです。
- 9) EMC(Extension, Membership & Conservation) クラブ拡張(新設)と会員増強の意識高揚を図る事業。会員増強はクラブの維持には欠かせない事業です。(次号へ)

「十八歳」と「八十一歳」の違い

《報告》 5月事務例会 (EF/JEF強調月間) 報告 報告者 岡田 美和

日時：5月9日（火）18:00～19:45
 場所：田園都筑教会
 出席者：
 今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、胡麻尻、鈴木S・K、辻Ts、林S・M、福島、横田
 今月のマーシャル：今城T（本例会司会）、横田（本例会受付・報告）
 ◇開会・黙禱
 ◇会長挨拶
 ◇協議事項

- 5月富士山例会（5/26・27）について
 例会の内容、車の手配などを検討した。バーベキュー食材調達はいつもの「さのまん」、補充野菜はTKB、飲み物手配は横田ワイズ。会費は昨年同様1万円とする。
- 横浜室内合奏団被災地慰問について
 合奏団佐藤団長からの依頼に基づき、石巻広域クラブ、仙台Yをご紹介。
 主体は洗足学園（横浜室内合奏団）が現地からの依頼により行うものと理解する。横浜つづきクラブは窓口（パイプ役）として、仙台Y、石巻広域ワイズなどを紹介した。横浜つづきクラブよりの同行者が要望されている。その任に林Sが申し出た。

◇主な行事の確認・連絡・報告（5月・6月予定）
 5/27 竹内さんお別れ会（林S、辻Ts出席予定）
 5/27 横浜YMCA会員総会 17:00-20:00

@横浜とつかYMCA
 6/4 北Y40周年記念コンサート
 北Y3Fにて 15:00-16:30
 （14:30開場 ￥500）
 6/3～6/4 東日本区大会（川越）
 参加予定者 今城T・岡田K&M・久保・鈴木S・辻Ts・林M&S
 6/6 Y-Y's協議会（当クラブが担当）
 19:00～ @中央Y


◇CS活動の確認・連絡（5月、6月予定表参照）
 みんなの家（COCOの集い・・・映画鑑賞会「むかしMattoの町があった」）、アーモンド、傾聴ボラ、調理ボラ、送迎ボラなど定例通り。

◇その他
 ・東北被災地訪問の件（辻Ts 別紙参照）
 実施はつばめの杜保育所とみやま荘との都合で10月19日（木）の予定になる。
 ワイズの浅見、石丸両名と仙台の清水、村井氏と連絡をとる。つばめの杜保育所の園児は146名から162名に増えた。職員も33名から42名になった。

閉会後は、いつもの中華料理（一心）にて大いに話が弾み、珍しい乾し豆腐の料理などいろいろ食べました。おしゃべりができる仲間には本当に良いものです。

（完）

《ご案内》 富士山例会へのお誘い



つづきクラブでは、本年5月13日に創立10周年を迎える富士山YMCAエコヴィレッジの設立以来、ほぼ毎年、5月の例会を「富士山例会」と称して同地で開催してきました。富士山YMCAは、富士山南麓に続く朝霧高原に位置する、横浜YMCAの野外活動の拠点で、設立以来、毎年数多くの子ども達や青少年の野外活動に活用されてきました。

私たちも、このキャンプ場の発展を願い、様々な機会に利用させていただいてまいりました。毎年、新緑高原を楽しんでいます。目前に広がる雄大な富士山は、一度見た人たちの心を捉えること間違いありません。そこで、お誘いですが、皆様も、私たちの富士山例会に参加されませんか。本年の富士山例会は以下の通り開催されます。

開催日：5月26・27日（金・土）
 集合時間：14:00（現地）
 《プログラム》

- 1) 例会（15:00～16:30）
 卓話：「富士山YMCA10周年～これからの展望～ 富士山YMCA 村田館長
- 2) 各種報告・アピール
- 3) 16:30-17:30 自由時間
- 4) 18:00-20:00 懇親BBQ夕食会
- 5) 20:00- 懇親会
- 6) 翌日は、朝食後自由解散とします

※ 参加費：約1万円（宿泊費・飲食費等）
 =====

ご関心の方は下記まで。
 林茂博会長（080-1196-5535）
 今城高之 ブリテン担当（090-2669-3092）

